

福島第一原子力発電所 元請企業職員における 作業後のAPD・ガラスバッジ不携帯について

< 参 考 資 料 >
2019年10月24日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

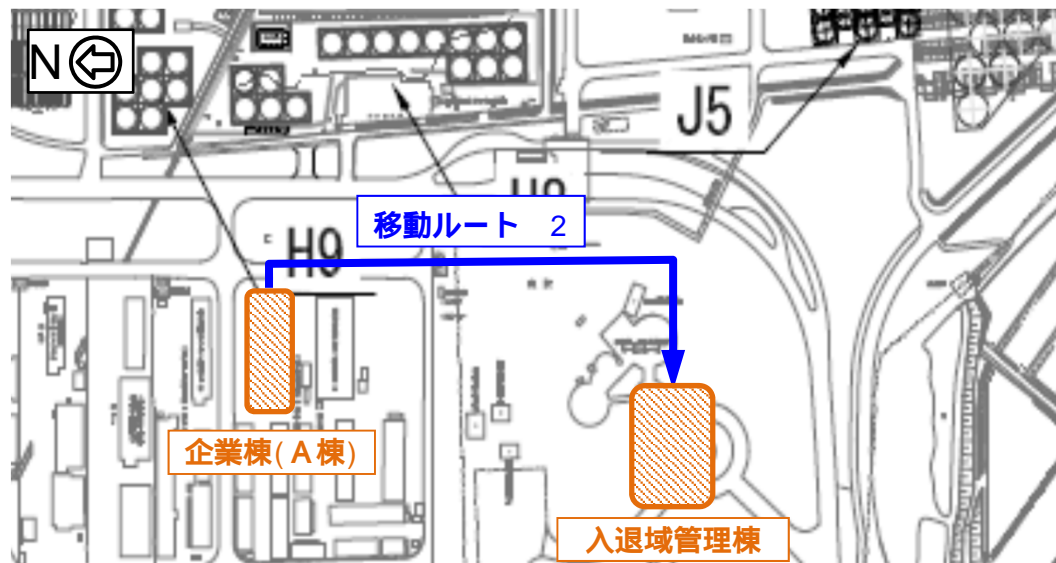
【概要】

昨日(10月23日)、元請企業職員が現場作業後、企業棟で着替えを行った際、APD・ガラスバッジ 1を企業棟に置き忘れました。

この結果、企業棟から入退域管理棟の間 2を、APD・ガラスバッジ不携帯で移動しました。その後、企業棟にいた別の同作業をしていた作業員が当該APD・ガラスバッジを回収し、入退域管理棟にいた当該元請企業職員に届け、当該元請企業職員は入退域管理棟から通常通り退域しています。

なお、現場作業においては、APD・ガラスバッジを適切に携帯していたと報告を受けています。

今後、詳細を確認し、再発防止に努めてまいります。



<APD・ガラスバッジ不携帯で移動したルート>

※1:APD(警報付ポケット線量計)
ガラスバッジ(積算線量計)

※2:追加装備不要で移動可能エリア
雰囲気線量約0.001mSv/h
移動距離約300m
移動時間約5分

時系列、被ばく状況等

【時系列】

2019年10月23日

- 午前 5時14分頃 入退域管理棟より入域
- 午前10時28分頃 入退域管理棟より退域
- 午後 0時05分頃 入退域管理棟より再入域
- 午後 0時05分頃 入退域管理棟より再退域
- 午後 0時07分頃 入退域管理棟より再々入域
- 午後 4時00分頃 企業棟到着（着替え実施）
- 午後 4時07分頃 企業棟退域
- 午後 4時11分頃 入退域管理棟でAPD・ガラスバッジがないことに気付く
- 午後 4時13分頃 チェックポイント員に報告
企業棟に居た別の職員に当該APD・ガラスバッジを持ってくるよう指示
- 午後 4時18分頃 元請企業の職員から当社へ連絡
- 午後 4時30分頃 同作業していた作業員が入退域管理等へ当該APD・ガラスバッジを届ける
- 午後 4時45分 通報（第1報）
- 午後 6時00分 通報（第2報）

【被ばく状況等】

APD値： γ 0.00mSv β 0.00mSv ※3

汚染：無し

※3：企業棟から入退域管理棟を徒歩で移動した被ばく線量について今後評価予定